

◇ 学 校 通 信 ◇

令和6年8,9月号

(令和6年8月26日発行)

桶川市立加納中学校

加納中だより

<http://www.okegawakanou-jh.edmap.jp>

《校 訓》 自主の風

《学校教育目標》

きらめく心、光る汗

生徒数 365名

「名づけられた葉」 ～詩人 ^{しんかわかずえ} 新川和江さん ^{しの} を偲んで～

校長 矢澤 等

戦後を代表する詩人 新川和江さんが今月10日にご逝去されました。95歳でした。慎んでお悔やみ申し上げます。新川さんの作品は、中学3年生の国語科の教科書に掲載されています。『わたしを束ねないで』という詩ですが、何ものにも縛られず、精神の自由を大切にして自分らしく生きていくというメッセージを読者は共感します。

名づけられた葉

作詞 新川和江 作曲 飯沼信義

ポプラの木には ポプラの葉
何千何万芽をふいて
緑の小さな手をひろげ
いっしんにひらひらさせても
ひとつひとつのてのひらに
載せられる名はみな同じくポプラの葉>
わたしも
いちまいの葉にすぎないけれど
あつい血の樹液をもつ
にんげんの歴史の幹から分かれた小枝に
不安げにしがみついた
おさない葉っぱにすぎないけれど
わたしは呼ばれる
わたしだけの名で 朝に夕に
だからわたし 考えなければならない
誰のまねでもない
葉脈の走らせ方を 刻みのいれ方を
せいっぱい緑をかがやかせて
うつくしく散る法を
名づけられた葉なのだから
考えなければならない
どんなに風がつよくとも



隣に紹介したのは、新川さんが作詞をした合唱曲『名づけられた葉』です。ポプラの木に生える葉っぱは、それぞれに個性があったとしても、みな一律に「ポプラの葉」としか呼ばれません。しかし、私たち人間は、親に名付けられた自分だけの名前があります。だからこそ、誰かの真似ではなく、自分らしく精一杯に生きていかななくてはならないと訴えかけます。たとえ大きな壁にぶつかっても、自分から行動を起こし、人生の終わり方を考えなくてはならないということを考えさせられます。

曲想や歌詞の意味が、自分の個性や生き方について見つめる内容となっているため、中学校では3年生ぐらいでないと歌いこなせない楽曲です。興味を持った方は、ぜひ一度聴いてみてください。

2学期も、授業や学校行事で、生徒が各自の持ち味を発揮して活躍する場面がたくさんあります。生徒会や部活動は、3年生からバトンを受けた1, 2年生に代替わりしていきます。自分たちの個性を伸ばし、たくましく成長していく本校生徒の姿に、大いに期待していきたいです。